

JICA 日系社会シニア・ボランティアの小澤道子です。アルゼンチンからお便りします。

サルタの1月は雨の日が続きます。
そして、夏とは思えないくらい
涼しくなり、ジャケットが必要に
なります。

ある日、夏だというのにアンデスの山が
雪景色になっているのに気づきました。
地球の反対側だから、日本とは逆に
夏に雪が降るのではありません。
冬は雨が降らず乾燥しているため、
雪になることができないのです。
でも、夏は雨が降り湿度が高くなるため、
急に冷え込んだりすると雪になる
そうです。一晩で山が真っ白になるのですが、

何しろ夏ですからすぐに元の茶色い山にもどってしまいます（アンデスの標高が高い山は、木が生えていません。そのため山は茶色という印象です）。そして、何日かするとまた雪景色の山を楽しむことができます。とても興味深い現象ですね。



サルタの人々は1月に長期休暇をとります。そのため、様々な活動が休止します。私が通っている公民館も1月はお休みです。そんな中、近くの美術館で、マスク仮面を作る講座があるというので行ってみました。ボール紙に細かな模様を書き、カッターで切り抜きながら作ります。私も地元の人に交じって世界に一つしかない仮面マスクをつくることができました。



さて、私達も夏休みを利用して、サルタ近郊へ旅行してきました。遠くからみるアンデスは、ただの茶色い山ですが、一歩中に入ると大自然が待っていました。そのときの写真をご覧ください。

サルタから北へバスで 3 時間ほどいくと、今までに見たことのない7色の山肌が見えてきます。なぜ、このような地層になることができるのでしょうか。ただただ、自然の偉大さに驚かされるばかりです。



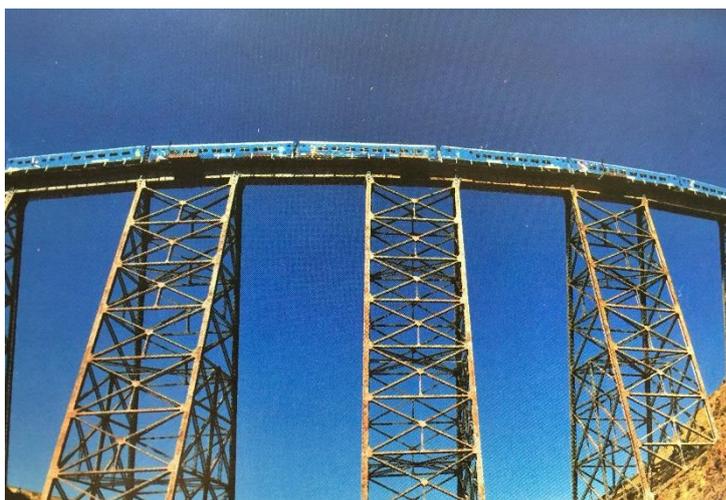
そこからさらに1時間ほどいくと、日本では絶対に見ることができない塩湖があります。塩で固まった湖面を車で奥へ奥へと行き、塩で浄化されたおいしい水を味わいました。



一方、サルタから南へバスで3時間ほどいくと、今度は巨大な赤い岩石でできた山肌を楽しむことができます。そこはワインの産地です。日本と違って試飲というサービスがありません。ワイナリー巡りで試飲を楽しむ日本人の私たちにとってちょっと残念。ただ、サルタのワインは地産地消なので、ここでしか味わうことができません。何本かお土産に買っていきたいのですが、リュックを背負って旅している私たちにはちょっと無理。ホテルでワインを注文し、部屋でゆっくり味わうことができました。



そして、以前はサルタから発着していた雲の列車です。サルタからバスで西へ2時間ほど行ったサン・アントニオという町から乗車します。30分ほどですが、大自然を満喫することができました。



日本とは違うアンデスの景色を楽しんでいただけましたでしょうか。

以上。